

# 恩納村中小企業者・小規模企業者・小企業者振興 行動計画

## 令和6年度 事業報告（実績）

恩納村商工観光課

令和8年2月27日 公表

評価 について	A1：目標達成済み。更なる向上のため、事業計画の見直しが必要（達成済み） A2：特段見直す点が認められず、事業の手法や方向性を現行のままで実施（現状維持） B：事業実施方法や執行方法の改善等によって、事業内容の一部を見直すべき（要改善） C1：事業内容が目的の達成手段として効果が薄い（抜本的な見直し） C2：事業内容が目的の達成手段として有効でない（目標の見直し）
------------	---

○評価様式の記入方法・見方

施 策		基本施策がここに記載されます。	
行動 計画	事業名称	基本施策に対する行動計画事業名が記載されます。	
	事業概要	上記事業の主な事業概要はここで説明されます。	
平成 30 年度	事業計画 <b>P</b>	事業実績 <b>D</b>	事業効果 <b>C</b>
	行動計画に記載している 本事業の目標	左記事業計画に対する実績	事業を実施した効果が記載されます。
	担当課評価 <b>A</b>	評価理由・根拠	令和元年度の対策・解決策
	<b>B</b>	この欄に：左記評価をした理由、またその原因等（解決できそうな原因とできそうもない原因の峻別）を記載します。（原因の可視化）	この欄に左記の理由・原因に対する対策や必要な態勢等を担当課として提案し、次年度以降に繋げる。
A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し		担当課の本事業に対する評価です。評価基準は表紙に記載しています。 「恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略」のPDCAサイクル(Plan(計画) →Do(実行)→Check(評価)→Action(改善))の評価方法に準じています。	
令和 元 年度	事業計画	実施計画	
	行動計画に記載している本事業の目標 または 見直し後の事業の目標	左記事業計画に対する事業の実施計画	
委員評価	審議委員の評価・コメント・アドバイスを記入		

施 策		(1) 地域資源を活かした観光の振興と中小企業者等の経営力強化			
行動 計画	事業名称	ア 審議委員会			
	事業概要	●本村の経済を牽引する重要な役割を担う中小企業者・小規模企業者・小企業者振興について必要な事項を審議する。 (PDCAによる、計画、実行、確認、改善の審議を行う)			
令和 6 年度	事業計画		事業実績	事業効果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回開催</li> <li>5～6月…令和5年度事業報告・評価</li> <li>2～3月…今年度中間報告</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年7月4日(第1回) 委嘱状交付式・令和5年度事業報告</li> <li>令和7年3月3日(第2回) 令和6年度経過報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初の計画通り2回開催。</li> <li>令和5年度の実績を踏まえ、当年度の事業に関して助言を受けた。</li> </ul>	
	担当課評価		評価理由・根拠		令和7年度の対策・解決策
	<b>A2</b> <small>A1: 達成済み A2: 現状維持 B: 要改善 C1: 抜本的な見直し C2: 目標の見直し</small>		<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね予定通りに開催することができた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>計画された時期に開催できるよう日程調整を行う。</li> </ul>
令和 7 年度	事業計画		実施計画		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>5～6月…前年度の事業報告・評価</li> <li>2～3月…当該年度中間報告</li> </ul> ※令和6年度第1回委員会にて、10～11月から2～3月へ変更で了承。		
委員 評価	<b>A2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状通り年2回の開催とする。必要に応じて臨時に開催することとする。</li> </ul>			

施 策		(1) 地域資源を活かした観光の振興と中小企業者等の経営力強化	
行動 計画	事業名称	イ 地域における「人、もの、情報」の連携	
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「人・もの・情報」の共有を図り、新たな事業展開など地域活性化に結び付ける。</li> <li>● 恩納村の優れた資源を活用した商品や、サービスなどを指すために連携する。</li> <li>● 連携体制の整備を図るため、関係団体（村、中小企業者等、商工会、金融機関、教育機関、観光協会、村民）で情報を共有し強める。</li> </ul>	
令和 6 年度	事業計画		事業実績
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商工会や金融機関などの関係団体と連携し、必要に応じて会議を開催する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 村内事業者等振興に関する各団体との意見交換会（R6.7.25）</li> <li style="padding-left: 20px;">※コロナ関係を含め通算9回目</li> <li>参集範囲：商工会・観光協会・OTF会・JA恩納支店・漁業協同組合・マリレジャー協会・沖縄銀行恩納支店・建設業者会</li> <li>【議題】</li> <li>「雇用状況とその対策について」</li> <li>・ コロナ禍が明け、積極的に設備投資を行いながら事業拡大に取り組む企業がある一方で、事業を縮小し、回復できずにいる企業もあり二極化の傾向が見られる。</li> <li>・ 事業者と求職者がマッチングしない</li> <li>【事業者は応用力のある方（適正）を求め、求職者は給与ではなく休日を重要視】</li> </ul>
		事業効果	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雇用に関する課題の根本的な解決には至らなかったものの、各事業者が直面している雇用の実態や課題を把握する貴重な機会となり、今後の具体的な支援策を検討する上での情報を得ることができた。</li> </ul>	

		担当課評価	評価理由・根拠	令和7年度の対策・解決策
		<b>A2</b>  A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議を開催し、事業者からの意見聴取に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関及び各団体と密な連携を継続していく。</li> <li>・定期的な開催を継続する。</li> </ul>
令和 7 年度	事業計画		実施計画	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会や金融機関などの関係団体と連携し、必要に応じて会議を開催する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じて、関係団体及び関係部署と連携しながら、意見交換の場を設ける。</li> </ul>	
委員 評価	<b>B</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・求職者は様々な働き方を求めており、事業者側も柔軟な対応と工夫が求められる。</li> <li>・IT導入補助金・省力化投資促進補助金など、各種補助金の積極的な活用を図る。</li> <li>・省力化で人型ロボットが接客している店舗もあるが、対人接客を重視している業態にはなじみにくい面もある。</li> <li>・人手不足は恩納村だけで解決できる問題ではなく、沖縄県・労働局と連携するとともに、現場の声を踏まえながら課題解決に取り組む必要がある。</li> </ul>	

施 策		(1) 地域資源を活かした観光の振興と中小企業者等の経営力強化			
行動 計画	事業名称	ウ 事業承継支援			
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●円滑に事業承継するために、必要な後継者対策等を行う。</li> <li>●沖縄県事業承継・引継ぎ支援センターを活用し、セミナー開催について事業所へ案内・事業承継に関する相談の実施。</li> </ul>			
令和 6 年度	事業計画		事業実績	事業効果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県事業承継ネットワークを活用し、セミナー開催について事業所へ案内、事業承継に関する相談の実施。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター担当コーディネーターと連携し、事業承継相談対応を行った。</li> <li>・事業承継啓発月間（主催：沖縄総合事務局）や事業承継推進事業補助金（事業主体：沖縄県）の周知を行った。</li> <li>・商工会の会報誌に、事業承継をテーマにした中小企業診断士の経営コラムを掲載し、事業承継に関する相談の呼びかけを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県事業承継・引継ぎ支援センターの担当コーディネーターと連携し、同コーディネーターに商工会指導員が同席し支援を行うことで、対応が円滑化されている。</li> <li>・事業承継関連の国や県の支援策が拡充していく中で、窓口等を通じ事業の周知が図れた。</li> </ul>	
	担当課評価		評価理由・根拠		令和7年度の対策・解決策
	<p style="font-size: 2em; color: red; margin: 0;">A2</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関との連携により、事業承継支援ニーズの掘り起こしや、具体的相談対応に繋がっている。</li> <li>また、各種支援策を周知し、事業者の積極的な施策活用を促進している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、沖縄県事業承継ネットワークや沖縄公庫と連携を継続し、事業承継に関する支援策の周知拡大や、相談対応および事業計画の策定支援を実施する。</li> </ul>

	事業計画	実施計画
令和 7 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県事業承継ネットワークを活用し、セミナー開催について事業所へ案内、事業承継に関する相談の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種支援策の周知。</li> <li>・専門機関と連携した相談対応及び事業計画の策定支援の実施。</li> <li>・60歳以上の代表者への事業承継診断の実施。</li> </ul>
委員評価	A2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継は4、5年先を見据えて、事業所支援の掘り起こしをしながら徐々に相談を進めていくのが1番スムーズである。</li> <li>・信頼関係を築きながら進めていかなければならず、一度崩れてしまうと再構築は容易ではない。</li> <li>・事例を収集しながら、商工会と連携して取り組みを進める。</li> </ul>

施 策		(1) 地域資源を活かした観光の振興と中小企業者等の経営力強化	
行動 計画	事業名称	エ 経営高度化支援	
	事業概要	●DXの推進、データベースを活用した経営合理化、人的資源の高度化	
令和 6 年度	事業計画	事業実績	事業効果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営高度化促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄 I T イノベーション戦略センター (ISCO) 及び那覇商工会議所と連携し、IT ツール相談会を実施。7 事業者が参加した。</li> <li>e-tax の申請を強化し、国税電子申告・納税システムの普及及び利用促進への貢献が認められ、名護税務署より感謝状を受けた。</li> <li>窓口相談における DX 化の情報提供</li> <li>記帳指導における会計ソフトの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I T ツール相談会を実施した事で、事業者の生産性向上の取り組みのきっかけとなった。</li> <li>e-tax 導入を推進したことで、従来紙で預かり、税務署で押印を受け返却していた申告書その場で事業者への返却が可能になり、事業者において手続きの時短化、効率化が図れた。</li> </ul>
	担当課評価	評価理由・根拠	令和7年度の対策・解決策
<p style="color: red; font-size: 24px; margin: 0;">A2</p> <p style="font-size: 10px; margin: 5px 0 0 0;">A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISCO と連携したセミナーを初めて実施し、専門家から直接経営高度化支援が可能になる体制を構築した。</li> <li>e-tax の利用促進で申告業務の効率化が図られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISCO 等の専門機関との連携により、事業者の課題解決や経営力の強化を支援し、生産性の向上を図る。</li> <li>e-tax 導入については継続して推進する。</li> </ul>	
令和 7 年度	事業計画	実施計画	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営高度化促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISCO 等の専門機関と連携し、IT ツール相談会及び相談対応を実施する。</li> <li>窓口相談における DX 化の情報提供、記帳指導における会計ソフトの導入、<span style="color: red;">サイバーセキュリティの強化。</span></li> </ul>	

B

- ・事業者がITツールを導入するにあたって、事前に自社の業務に最適なツールを検討する必要がある。ISCO（沖縄ITイノベーション戦略センター）に相談することで、より効果的な導入と成果の向上が期待できるのではないか。
- ・近年、小規模事業者においても詐欺等のサイバーインシデント被害事例が挙がっており、DX推進にあたっては、サイバーセキュリティの強化もあわせて講じることが必要不可欠である。

施 策		(1) 地域資源を活かした観光の振興と中小企業者等の経営力強化
行動 計画	事業名称	オ 地域資源活用支援
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●村産品・特産品等地域資源を活用した商品開発、生産、需要の開拓を行う。</li> <li>●名護市・読谷村・恩納村の1市2村で共同宣言を行い認定された「ふるさと名物（沖縄リゾートウエディング）応援宣言」をさらに発展させ、域内のリゾートウエディングの活性化を促す（ウエディングの引き出物やウェルカムドリンク、ウェルカムクッキー等の商品の拡充を行う。）</li> </ul>
令和 6 年度	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営革新認定事業 2 件</li> </ul>
	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営革新認定 2 件</li> <li>●ジャパンインテグレーション(株) (AI 顔認証出席管理システム構築事業)</li> <li>●Curry Savila (同) (恩納村特産の食材を使用したちんすこうを開発。冬場の新たな収益の確保・製品卸業から販路拡大)</li> <li>・沖縄県商工会連合会が主催する第 27 回ありんくりん市にて、村内事業者 3 ブース 4 社が出店した。</li> <li>・恩納村産業まつりにて 6 事業者の出店及び商工会ブースにて特産品開発の商品パネル、レシピコンテストのパネル展示を行った。</li> <li>・令和 7 年 2 月 12 日にうんな中学校 2 年生を対象とした、村内リゾートホテル 11 社による、村特産品の島タコを使用したレシピコンテストの実施。</li> </ul>
	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営革新承認後に補助金、助成金申請を検討すると共に、今後の販路開拓の為、特産品開発支援事業など継続した支援を実施している。</li> <li>・第 27 回ありんくりん市の来場者数は 3 日間で 27 万人にも及び、多くの方へ村特産品の PR を行うことが出来た。出店事業者の咲元酒造株式会社の琉球泡盛「On a village」は令和 6 年度沖縄県優良県産品 NEXT 部門において「最優秀賞」を受賞。令和 6 年 11 月 1 日に恩納村役場にてプレスリリースを実施し、村内農家、関係各所との連携をさらに強化できた。</li> <li>・恩納村産業まつりでのパネル展示を通して、村内リゾートホテルの優れた技術を周知するとともに、ホテルスタッフ間の情報交換の場となった。商品パネルを展示した出店業者からの事後アンケートでは、商品の PR に繋がったと回答があった。</li> <li>・レシピコンテストでは、各ホテルスタッフ間の情報交換の場となっただけでなく、村内の中学生へ地域食材の美味しさ、リゾートホテルスタッフの接客品質の高さを伝えることができた。</li> <li>・特産品コーナーでは、恩納村の特産品の周知・PR をするとともに、ふるさと納税も楽しめるアンテナショップとして新たな魅力発信の拠点となった。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年3月に万座毛周辺活性化施設にて特産品コーナーを設置。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローカル認証制度への移行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年8月30日 第1回作業部会</li> <li>・令和7年2月25日 第2回作業部会</li> <li>・令和7年3月31日 認定委員会及び認定証交付式</li> </ul>	<p><b>【事業効果ではなく作業部会の内容を記載】</b></p> <p>第1回作業部会 制度運用に向けた要綱等の検討、認証に対するメリットの検討、ダイビングサービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●認証に対するメリットについて       <ol style="list-style-type: none"> <li>①ふるさと納税の返礼品登録</li> <li>②認証作物は規格外農産物を高く買い取る仕組み作り</li> <li>③資材購入の際の認証者の割引率を高くする →認証品目がパッションフルーツに限られているため、パッションフルーツだけ割引率を変えるのは難しいのでは</li> <li>④農家の皆さんがどのようなことにメリットとして感じるのかヒアリングを行う。</li> </ol> </li> </ul> <p><b>【令和6年11月28日説明会実施】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①受注は商工会が窓口、伝票印刷についても商工会が行う予定。返礼品登録は上位認証のみとすることで、エコファーマーにチャレンジしようと思う農家が増えるのでは。</li> <li>③支援について、天敵を利用した害虫防除に必要な昆虫の購入費の支援があると助かる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ダイビングサービスについて（一部、抜粋）       <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンフィンズ認証参加店が伸び悩んでいる。推進するために試行錯誤をしている状況であり、定着するまでに時間がかかりそうな状況。</li> <li>・グリーンフィンズ認証者が増えることで、ダイビングサービスでのサンゴにやさしい認証取得につながるのでは。</li> </ul> </li> </ul>

			<p>第2回作業部会の内容</p> <p>認証基準及び認証の仕組みについて、認証に対するメリット、新たな認証品目について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ふるさと納税の返礼品登録 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上位認証のみを登録可とし、登録は農家個人で登録する。</li> </ul> </li> <li>●メリットを高めるための検討事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・天敵を利用した害虫防除に必要な昆虫の購入費の支援 →利用しない人にはメリットにならないのでは。</li> <li>・贈答品としての販売戦略</li> <li>・村内ホテル等との連携</li> </ul> </li> <li>●新たな認証品目について <ul style="list-style-type: none"> <li>・アテモヤが有望</li> </ul> </li> </ul> <p>認定委員会及び認定証交付式</p> <p>認定委員会でパッションフルーツ生産者6名(有機JAS認定1名、エコファーマー認定5名)がより環境に配慮した基準を満たしているゴールド認証(上位認証)を受けた。</p>
	<p>担当課評価</p>	<p>評価理由・根拠</p>	<p>令和7年度の対策・解決策</p>
<p style="color: red; font-size: 24px; text-align: center;">A1</p> <p>A1: 達成済み A2: 現状維持 B: 要改善 C1: 抜本的な見直し C2: 目標の見直し</p>	<p>・経営革新計画の認定や、恩納村の地域資源活用の支援により、事業者のモチベーションの向上に繋がるので、引続き経営革新計画の認定への支援と、特産品開発事業の支援を継続していく。</p>	<p>・各事業者の継続的な発展を後押しできるよう引き続き支援していく。</p>	

令和	事業計画		実施計画	
7 年度	・経営革新認定事業 2 件		・経営革新認定事業 2 件の承認を目標に、認定申請に必要な支援を行っていく。	
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; background-color: black; color: white; padding: 5px; margin-right: 10px;">委員評価</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; flex-grow: 1;"> <p style="font-size: 2em; color: red; text-align: center; margin-bottom: 20px;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営革新を認定されることで、事業者にとって自信となり次のステップに繋がる。また、各種支援を活用できることや、事業の計画が明確化されることで、方向性を再確認できる事は有意義である。</li> <li>・県の産業まつりへの出店を通じて自社が取り組む事例を広く発信することで、他の事業者に対し商品開発や新規取組への意欲を喚起する効果が期待される。</li> <li>・レシピコンテストに関しては、テーマが尽きないか懸念がある。あと、食材の安定供給が確保されなければ、消費者が興味を示しても継続的な購入につながらず、販路拡大に結び付かない。そのためには、農業等の活性化が必要不可欠なのは。</li> </ul> </div> </div>				

施策	(1) 地域資源を活かした観光の振興と中小企業者等の経営力強化		
行動計画	事業名称	カ 農商工連携による6次産業化の推進	
	事業概要	●事業拡大を図るため、農業者・漁業者等に対し行政や商工団体と情報共有を図り、ホテル等に対し、地場産農水産物の利用、消費拡大など販売の支援	
令和6年度	事業計画	事業実績	事業効果
	・観光連携型農業の構築を目的とした調査。 ※農林水産課にて実施済。	・「スマート農業と観光連携型農業推進による村内農産業の活性化に関する調査業務」の報告書による本村における観光農園の拠点として位置づけられた3字（安富祖・恩納・真栄田）への説明実施。 ・6次産業化に関する講座等開催（県支援事業）について周知を行った。	調査業務の概要 ・現状や課題の整理 （人材の確保・育成、地域一体となった6次産業化の推進、地域特性を活かした新たな販路拡大、農業と触れ合う体験型観光の推進と交流人口の拡大推進、スマート農業による省力化の実現） ・ニーズ把握（アンケート調査結果によるもの） ・ターゲットごとの事業推進選定作物の洗い出し ・戦略ビジョン（農業振興策）の明確化 ・観光農園集積エリアの用地選定（3エリア）  農商工連携について ・OTF会の支援を受け、シンカレタスの継続的な取引を本格的に開始。 ・おんなの駅では、納品された農産物の情報を、LINEを活用してホテル等の事業所へ提供し、地元農産物の消費拡大に寄与している。
	担当課評価	評価理由・根拠	令和7年度の対策・解決策
	C2  A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し	・調査結果を踏まえ、目標の見直しが必要。	・観光連携型農業による農業の活性化については、事業者の経営判断によって作物選定など進めるものである（報告書より）ため、行政は相談があれば必要な支援を行う。

令和	事業計画		実施計画
7 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果や現状を反映させた上で策定する。</li> <li>・農商工連携による安定供給体制の構築に向けた検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者の経営状況を踏まえ、必要な支援を行う。</li> </ul>	
委員 評価	C2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテル側の需要（農商工連携）に対して、安定供給が可能となるような環境を整えていくことが望ましい。</li> <li>・安定供給に対応できる農業者の育成について必要な支援策が課題となる。</li> <li>・農商工連携に加え、観光連携も含めた連携体制の構築が求められる。</li> </ul>	

施 策		(1) 地域資源を活かした観光の振興と中小企業者等の経営力強化		
行動 計画	事業名称	キ 新商品開発事業		
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●村内の地域資源を活かした付加価値の高い新商品開発を促進する。</li> <li>●村産品を活かした特産品の開発を推進する。</li> </ul>		
令和 6 年度	事業計画		事業実績	事業効果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品化 5品</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・村特産品開発支援事業において、村内事業者 5 社による新商品開発及び販路開拓支援を実施した。</li> <li>(ローゼルの塩漬け、あふそ米の泡盛のパッケージ開発、島野菜茶漬けのセット箱の作成、おんなブルー販促用ポータルサイト作成、蜂蜜の残留農薬検査による高付加価値化等)</li> <li>・過去に支援を実施した事業者 8 社に対し、追跡調査を行った。</li> <li>・万座毛周辺活性施設にて、ローゼルの塩漬けを対象としたアンケートを実施。国内外の観光客に対して 80 件のアンケートを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内事業者へマーケティング専門家による個社支援及びパッケージデザインや販促ツールの制作支援を総合的に実施したことにより、魅力溢れる高付加価値の特産品を開発することができた。</li> <li>・追跡調査を行った 8 社へ現状の把握と改善策を提案することで、消費者ニーズを反映した売れやすい製品への改良、アップデートの判断基準の一つとなった。</li> <li>・開発された商品(ローゼルの塩漬け)を対象としたアンケートより得られた結果(商品の名称・価格・内容量等)を考慮した上で、商品化に取り組み、販路拡大に活かすことができた。</li> </ul>
担当課評価		評価理由・根拠		令和7年度の対策・解決策
<p style="color: red; font-size: 2em; margin: 0;">A1</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 6 年度の特産品開発支援事業において開発した商品の販路開拓、改善案の提案を行い、更なる付加価値向上が期待される。</li> <li>過去の支援事業者を対象とした現状確認と今後の改善策の提示を行うことで、点で終わる支援ではなく、継続した支援を実施した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内の地域資源を活かした付加価値の高い新商品開発を促進し、村内外での販売促進を支援する。</li> </ul>

		事業計画	実施計画
令和 7 年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>商品化 5品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>恩納村地域特産品開発支援事業の実施による商品開発支援や、万座毛周辺活性化施設等での販売促進を図る。</li> <li>村外での新たな販路拡大を支援する。</li> </ul>
委員評価	A2	<p>・アンケートを実施しているが、回答の9割近くが観光客となっており、地元住民から反応が得られていない。地元での認知度が低いままだと、販路拡大に繋がらないのでは。地元住民の認知度をあげることが必要不可欠である。</p>	

施 策		(2) 連携による人材育成・雇用促進			
行動 計画	事業名称	ア 地域の担い手育成			
	事業概要	●村内の経営者を対象にした先進地視察研修や、最新ビジネスの事例紹介セミナー、講習会等を開催し、地域産業の担い手の育成に努める。			
令和 6 年度	事業計画		事業実績	事業効果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー開催1回</li> <li>・青年部九州大会、全国大会への派遣</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年部でハニーコーラルプロジェクト事業に引き続き参加し、村と連携し地域環境の保護活動を行った。また、同事業に関するセミナーを1回実施した。</li> <li>・サンシャインシティ（池袋）の沖縄めんそーれフェスタの物産展ブースの飲食提供に初参加し、恩納村のPRを行った。</li> <li>・商工会青年部全国大会へ3事業者、九州大会へ1事業者が参加し、後継人材の育成支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハニーコーラルプロジェクト事業への参加や、サンシャインシティでの活動を通し、村内の関係各位との連携強化を図れた。</li> <li>・サンシャインシティへの参加により、首都圏顧客と直接の接点ができ、顧客ニーズ等の把握ができた。</li> <li>・TVインターアクションの参加により、被災地の非常事態における地域や青年部の取り組みを学び、今後の活動の参考になった。</li> </ul>	
	担当課評価		評価理由・根拠		令和7年度の対策・解決策
	<p style="color: red; font-size: 2em; margin: 0;">A2</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組により事業者間のネットワーク構築や、資質向上、士気向上が図れた。</li> <li>・新たなイベントへの協力により、地域活性化へのモチベーションが向上した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営に資するセミナーを1件以上実施する。</li> <li>・人材育成に資する各種研修やセミナーへの積極的参加を促進する。</li> <li>・地域活性化イベントに協力し、活性化事業の継続を支援する。</li> </ul>

		事業計画	実施計画
令和 7 年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー開催1回</li> <li>・青年部九州大会、全国大会への派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年部全国大会・九州大会への参加</li> <li>・経営に資するセミナーの実施</li> <li>・サンシャインめんそーれフェスタへの協力</li> </ul>
委員評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会の青年部、漁協青年部、若手農業従事者との交流を深めることで、情報共有や課題意識の共有が進み、相互に良い影響を与え、地域活性化に繋がる。</li> <li>・各業種の若手リーダーとなる方との連携体制の構築が必要。</li> </ul>	

施 策		(2) 連携による人材育成・雇用促進		
行動 計画	事業名称	イ 雇用促進		
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●商工会で行っている求人情報「ナビワーク」を村ホームページへ掲載するなど村内の求人情報を提供する。</li> <li>●ハローワークと連携を図り、役場内玄関前に求職ブースを設置し、情報の提供を行う。</li> </ul>		
令和 6 年度	事業計画		事業実績	事業効果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HP・LINE等を活用した求人案内を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、村広報に商工会の「恩納ナビワーク」の情報を掲載し(QRコードで読み取り)求人情報を検索できるようにした。</li> <li>・LINE等にて情報発信(通算:11回) 正規雇用化に関する事業(6回) 障害者差別解消法に係る 説明会の案内(1回) 外国人雇用セミナーの案内(2回) 働き方改革セミナーの案内(2回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人情報の周知には取り組んでいるものの、その取り組みが雇用へと結びついているのかは不透明である。</li> </ul>
	担当課評価		評価理由・根拠	令和7年度の対策・解決策
	<p style="color: red; font-size: 2em; margin: 0;">C2</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">A1: 達成済み A2: 現状維持 B: 要改善 C1: 抜本的な見直し C2: 目標の見直し</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の情報発信だけでは、雇用への結びつきは低いと考えられ、新たな施策の検討が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本村に適した雇用促進事業を模索・展開していく。</li> </ul>
令和 7 年度	事業計画		実施計画	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本村に即した雇用促進事業を展開する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・先行事例を参考にしつつ、本村の実情に即した雇用促進事業を推進する。</li> </ul>	

C2

- ・ 先行事例を参考にしながら、雇用促進事業の実施にむけて検討を進めてください。

施 策		(2) 連携による人材育成・雇用促進	
行動 計画	事業名称	ウ 受注機会の確保	
	事業概要	●村が実施する事業に関し、村内中小企業者等の受注機会の増大を図る。	
令和 6 年度	事業計画	事業実績	事業効果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>村実施事業において、村内事業者の受注割合の増大を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務委託契約 5/49件 (10.20%)</li> <li>工事 25/28件 (89.29%)</li> <li>※建設課提供 R6 年度村内業者の受注件数報告数値</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事に関しては村内業者が 9 割弱を占めており、受注割合は比較的高水準にあると考えられる。業務委託契約に関しては、村内業者で取り扱っていない業務（設計業務等）が多数を占めるため、受注割合は高くない。</li> </ul>
	担当課評価	評価理由・根拠	令和7年度の対策・解決策
A2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度まで集計基準を作成していないことを受け、建設課で受注件数把握及び情報提供について調整し、令和3年度より数値で把握している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、建設課と情報を共有し受注件数を把握する。</li> <li>村内事業者の受注割合の増大を図るため、積極的な利用を呼促進する。</li> </ul>	
A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し			
令和 7 年度	事業計画	実施計画	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>村実施事業において、村内事業者の受注割合の増大を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設課だけではなく、庁舎における村内事業者の受注割合を把握できないか、関係課と調整・連携する。</li> </ul>	
委員 評価	A2	<ul style="list-style-type: none"> <li>難易度の高い案件ではあるが、受注割合の低い業種の企業誘致をすることで、受注割合が向上し、税収も増加も期待できるのでは。</li> </ul>	

施 策		(2) 連携による人材育成・雇用促進	
行動 計画	事業名称	エ 村民の理解と協力	
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●村民は中小企業等振興への理解と協力を図る。</li> <li>●村産品を積極的に利用する。</li> </ul>	
令和 6 年度	事業計画	事業実績	事業効果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村産品積極的な利用に関する広報、村民の理解度を測るためのアンケート実施</li> </ul>	<p>7月：懸垂幕にて村産品優先使用の意識向上を促した（県産品奨励月間と併せて実施）。</p> <p>9月：広報誌にて村内3団体から地元産品奨励及び地元企業優先使用の要請について掲載、全庁的な取り組みを推進することを村民へ周知。庁舎内掲示板にて各課へ事業、イベントにおいて使用する物品、消耗品等についても村内事業所での調達依頼実施。出先機関への周知についても協力依頼。</p> <p>・特産品レシピコンテストのホテルレシピブックを発行し、村内関係機関や村内ホテル等で配布した。また、村広報誌においてレシピコンテストの内容を掲載した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R7.1月アンケート結果（記入・WEB回答 259件）来場者数：4,110人（第27回恩納村産業まつり会場 回答対象：恩納村民）</li> <li>●村では、村内の事業所（中小企業等）の振興を図ることで地域経済の活性化及び雇用の創出を目的に関係者が協働して様々な支援に取り組んでいます。このような取り組みについて知っていますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・知っている 23% ・聞いたことがある 8%</li> <li>・知らない 8% ・無回答 49%</li> </ul> </li> <li>●このような支援（村の取組）についてどう思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に取り組んで欲しい 37%</li> <li>・どちらかといえば取り組んで欲しい 4%</li> <li>・無回答 59%</li> </ul> </li> <li>・レシピブックの発行やコンテストの内容を広報誌等に掲載したことで、事業の取り組みを多くの人に周知する機会となった。</li> </ul>
	担当課評価	評価理由・根拠	令和7年度の対策・解決策
	<p style="font-size: 2em; color: red; margin: 0;">A2</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村産品優先使用に対する村民への理解と周知（広報・HP等）を実施した。村内事業所の振興に関するアンケートでは、無回答の割合が高いが、カレーフェスタ以外の目的について把握することで、中小企業振興に対する村民の意識を測る手掛かりとなると考えられるため、これを踏まえたアンケートの内容を検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に広報等で村産品等のPRを行う。</li> <li>・引き続き、中小企業等振興への村民理解度を測るためアンケートを実施。</li> </ul>

令和 7 年度	事業計画	実施計画
委員 評価	<p style="color: red; font-size: 2em; text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの内容や回答者への粗品を検討する。</li> <li>・村内小中学生を対象に村産品の理解促進を図ることで、村民全体への認知向上に繋げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県産品奨励月間に合わせ、県産品並びに村産品の優先使用を懸垂幕、広報、村ホームページに掲載し、周知する。</li> <li>・地域特産品等開発支援事業で商品開発した商品を広報・HPで紹介する。</li> </ul>

施 策		(3) 創業支援事業		
行動 計画	事業名称	ア 創業者支援		
	事業概要	●創業支援事業者補助金を活用した創業相談員（中小企業診断士・税理士等）を配置し相談等の支援を行う。		
令和 6 年度	事業計画		事業実績	事業効果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業件数 5 件</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>起業件数 4 件（相談件数：12 件）</li> <li>中小企業診断士等の相談員を窓口を設置し、創業計画、融資、補助金申請のサポートを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業関連相談 12 者の内、4 者が起業に至り、新規創業を促進した。</li> <li>専門家も交えた創業融資や創業関連補助金を活用し、企業時の資金調達円滑化の支援、相談窓口においては、経営・財務・人材育成・販路開拓等、創業に必要な知識を習得に資する支援を実施したことで、創業の流れや必要な準備等について理解を深める機会となった。</li> </ul>
	担当課評価		評価理由・根拠	令和7年度の対策・解決策
	<p style="text-align: center; color: red; font-size: 2em;">A2</p> <p>A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>創業相談は引き続き一定のニーズがあるが、専門家や金融機関と連携した支援で、創業計画の作成に始まり、融資や補助金等の要望に対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業診断士や税理士等の専門家と連携し、新規創業を促進する。</li> <li>事業計画や融資・補助金申請の支援を行う。</li> <li>過年度に支援した創業支援対象者へ、継続的な支援を実施する。</li> </ul>
令和 7 年度	事業計画		実施計画	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業件数 5 件</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>専門家による創業相談窓口の設置。</li> <li>創業時に活用できる融資や補助金の相談会の実施。</li> </ul>	
委員 評価	A2	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工会との連携を継続のうえ、引き続き事業の実施してください。</li> <li>空きテナントが少ない・家賃が比較的高額のため創業に至らず課題が残る。</li> </ul>		

施 策		(3) 創業支援事業	
行動 計画	事業名称	イ 特定創業支援事業	
	事業概要	●特定創業支援認定事業者数 セミナーや個別相談受講等のすべての要件を満たした事業所	
令和 6 年度	事業計画	事業実績	事業効果
	・認定特定創業支援事業認定事業者数 2件	・複数事業者より認定の希望はあったが、認定要件を満たさない状況(経歴や創業希望地)であったため、特定創業認定に至れなかったが、相談窓口において、経営・財務・人材育成・販路開拓を中心とした支援を行った。	
	担当課評価	評価理由・根拠	令和7年度の対策・解決策
	A2  A1:達成済み A2:現状維持 B:要改善 C1:抜本的な見直し C2:目標の見直し	・複数事業者より認定の希望はあったことから、本事業についてある程度の認知度はあると推測する。	・認定特定創業支援事業について、認知向上を図るべく周知活動を強化する。
令和 7 年度	事業計画	実施計画	
	・認定特定創業支援事業認定事業者数 2件	・認定特定創業支援事業を通して、創業者の経済的負担が減少するよう継続的に支援する。	
委員 評価	A2	・商工会との連携を継続のうえ、引き続き事業の実施してください。	

施 策		(3) 創業支援事業	
行動 計画	事業名称	ウ 創業融資の利用促進	
	事業概要	●商工会・村・金融機関は、基本方針に基づき、中小企業者等が経営基盤の強化、経営の改善と経営力向上に取り組むことができるよう、融資を円滑に行う。	
和 6 年度	事業計画		事業実績
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡会開催1回</li> <li>・創業融資に関する連携した件数</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄銀行恩納支店への創業融資の斡旋を1件(飲食業)実施し、融資決定まで支援した。</li> <li>・銀行支店長及び担当者と都度情報共有の上対応した。</li> <li>・沖縄公庫の創業融資計画書策定支援を4件実施、2件融資決定まで支援した。</li> </ul>
	事業効果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡会議は無かったが、融資案件の斡旋の都度、銀行支店長及び担当者を交えて情報共有及び調整を行った。その結果、創業融資決定まで適時対応する事ができた。</li> </ul>
	担当課評価		評価理由・根拠
<p style="text-align: center; color: red; font-size: 24px;">A1</p> <p>A1：達成済み A2：現状維持 B：要改善 C1：抜本的な見直し C2：目標の見直し</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・銀行と商工会間で、案件毎に密な情報連携が図れている。</li> </ul>	
		令和7年度の対策・解決策	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業融資の利用促進に向けて情報共有を行う。</li> </ul>	
令和 7 年度	事業計画		実施計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて連絡会議を開催する。</li> <li>※令和4年度事業報告にて定期的な開催は不要と委員会で承認しているため、「必要に応じて連絡協議会を開催」とする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援計画に基づき、村・商工会・沖縄銀行と連携しながら、中小企業等の支援を行う。</li> </ul>

A2

- ・ 案件ごとにおいて、連携が図られているため引き続き継続して取り組んでください。
- ※事業は引き続き実施するので、評価は現状維持（A2）とする。